



一般社団法人

# ロゴス腹話術研究会

2022年12月9日

会報

第22号

## 「夢中！」 腹話術・ロゴスの腹話術

春風とんぼ



1955年(昭和30年)12月 クリスマスを前に、得意になって、イエス様のお話を満員の子どもたちにしていました。そうです。遊び場の少ない超田舎町、子どもたちは、教会しか行くところがなかったのです。

突然「懐かしい懐かしいこの調べ…」カレー会社の宣伝カーが、大音声を上げて教会の前に止ったのです。小さな粗末な教会。話の下手な先生は一瞬のうちに敗北、子ども達は宣伝カーに向かって走り出てしまいました。



何か？ 知らない…あれ人形？人間？何かわからないものが「このカレーおいしいよ」「このカレー食べると、頭が良くなるよ」と叫ぶと村中の人々が…と言う位、近くの人や教会学校の子どもたちが、いっせいにサンプルや、商品をめがけて、突進するのです。

私も思わず、つられて駆けよりました。なんだこれは。あの喋る物体は。一体何者なんだとあつけにとられました。

「えー！これが腹話術の人形？ あんなに自由自在にお話ができるの？ へー！」「そうか、このお人形一体手に入れることができれば、聖書のお話なんかオチャノコサイサイ」。

腹話術という芸がこの世の中に存在することを知ったのは、この時が初めてでした。

てっきり、人形が全てを喋るのだ、何か特別の装置が付けられているのに違いないと思い、早速カレー会社を訪ねました。

会社の人は全然相手にしてくれません。話によると、東京や大阪の寄席で大うけだって！教えられた寄席を、訪ねました。ここでも全たく、けんもホロロ。腹話術は、教えるものではなく、教わるものでもない。不思議な芸であるだけに、盗みとって自分のものにつくり上げるものと言うのです。看板を見ますと、古川ロッパさんとか三遊亭小金馬さんなど、当時すでに超有名人が隠し芸にくみ入れて活躍していた芸であったからです。

あきらめました。盗み取り何かする時間も方法も、何も知る手立てが判らなかつたからです。いつしか忘れてしまいました。

それから14年。

1969年(昭和44年)4月。教会の牧師から、新丸子教会の野田市朗牧師を附属幼稚園の入園記念講演師にお迎えするから来ないかとお誘いを受けました。なんと、なんと。野田市朗牧師はNHKテレビで「ある人生」に出演し、今や日本中の教会から引っぱりだこの腹話術師だから紹介してあげようと言われたのにびっくり驚天(仰天)。

しかし日程を見ると、当日は幼稚園から100kmも離れた地で、本業が関わる重大な医薬品の年間競争入札日当日。あきらめざるを得ませんでした。

### 不思議・奇跡・神さまのご配慮

奇跡はあるのです。

まず、入札が急にとり止めになり、もしかしたら野田牧師の演技出演時間に間に合うかもしれぬ。喜びが急にふくらみました。しかし途中の交通渋滞で悲観。甘くないなあ。

幼稚園へ、悲観を伝えました。えー！えー！なんと野田牧師の乗車した列車が大幅に遅延！それなら間に合いそう。喜びと悲しみが交互にやってくるのです。

お目にかかれました。

園児は当時の当然のこと、親も職員も大爆笑に続く大爆笑。私はこんな牧師先生に紹介され、教会のご奉仕が出来ることに感動しました。

しかしです。野田牧師は、先程迄のものすごい笑顔はどこへやら。主旨をお話ししても一言もお返事がない。希望に溢れていただけに絶望との落差の大きいこと。わかりますか？この時の気持ち。次又奇跡が発生。なんと野田牧師を名古屋駅へお送りする運転手が急病？ 教会の牧師から野田先生をお送りしてほしいと指示されました。いやだなあ。希望を聞き入れてくれないのに。非常に心の重い時が来ました。

悲喜こもごもと言う表現使って良いかな？

私の腹話術との出会いは、このような不思議な絡みの中に誕生したのです。

### 初心者講習会に参加。喜びの爆発発生！

師匠に お目にかかってから幾日か経過しました。受講のチャンスが来るのか。不安な時はどんどん過ぎて仕事も手がつきません。

突然6月、大阪クリスチャンセンターで行われる初心者研修会にお誘いが来ました。

一人欠員が出たからという案内です。

大きな鯨に、小さいつり針が喰い込んだ。もう絶対放さないぞ。幾多の不思議な時ではあったが、最初で最後のチャンスとばかり、会社の業務も強引に変えて大阪へ出かけました。第5期ロゴス腹話術初心者研修会です。

講師は師匠の他、先輩春風5人。

受講生21名 その中には後々ロゴスを背負ってくれた春風小イチローさんが居りました。ものすごく上手。人形の扱い、ことばの通い、すべてロゴスに精通しているのにびっくりしました。すでに完成した人でした。

### むさぼるように、夢中になって！

発声の仕方、お人形の動作と一体になるには、人の心に沁み込むことば。お人形との通い、お人形との一体、その技を産み出す台本。困難はいっぱい、いっぱいあります。上手な腹話術、面白い腹話術はどうしたら作り出せるか。

あっ！技はほどほど出来ても…心は？ ロゴスに絶対なことは「心と技」とききましたが、心をどの位置におくのか。

大阪の研修会の2泊3日は夢のように過ぎました。研修を受けた翌日には既に出演を約束していた近郊の教会に伺いました。散々の出来でしたが、なんとか終わりました。

むさぼる、夢中、熱中、辞書にある熱心という言葉全部集中して学び取ったと言っても良いでしょう。メモをとりまくりました。それを自分なりに構成してみました。どうしたらこの名古屋に腹話術のメッカを築き上げることが出来るかに、自分の時間は全て使ったと言えるくらい使ったでしょう。

それから10年間、会社の休暇、休日は全てロゴスの吸収に用いました。

お人形の分身が私。お人形の子分が私。好きも嫌いも言える間ではありません。人形に嫌われたくない。一身同体、師匠の仰言ることばは、テープ、メモにぎっしり刻み込むことに成功したと思っています。

お人形、好きですか？ 当然です。好きも嫌いも、もう言えた間柄ではない。もう一度言います。

一身同体です。一心同体です。

師匠が記録は、とんぼに聞けと言って下さるところに到着したと思いました。

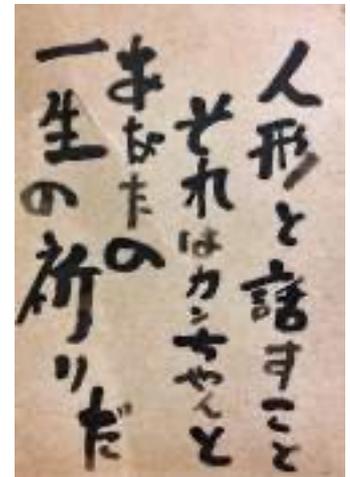
ロゴスの腹話術は、素人にでも出来るように考案してくれましたが、「心と技」そのきまりの中に埋没してくださいと伺いました。

きまりを忘れてはロゴスの腹話術になりません。

- 1 笑顔・はずむ声・穏やかな目線
- 2 人形に息を吹きこむ、心も体も通い。
- 3 打音・9パタ・まばたき 4・0の「ま」

あ、その次は、その次は楽しみにお待ちください。

私にとって今一度、まとめに入ります。



イチロー師匠からの葉書き

# それ詐欺! けんちゃんとうりやく

「声がおかしくなった」  
 「会社のカネ使い込んだ」  
 「だれにも言わないでね」

腹話術で特殊詐欺の被害者をたどると、芸歴約30年の「春風赤とんぼ」さんが、相手の「けんちゃん」と活動している。きりん、りん、りん お話は自宅の電話が鳴る場面から始まる。

けんちゃん、声がおかしいよ。  
 (風邪ひいてね、ちよつと声がおかしくなった)  
 気をつけなさいよ、とこで何の話だい?  
 敬老の日を迎えた9月18日、豊田市の老人福祉センター「豊野園」で、赤とんぼの弟子2人が集った。視線の先に舞台の9人がいた。

本名は宇野政博さん(80) 豊田市美里町丁白、小学校長を退職後に人権擁護委員を務め、備見や差別といった「難しいこと」を上手に伝えたいと、春風とんぼさんに弟子入りした。以来、豊田市内の全小学校はもちろん、県内の学校を回って、いじめを主なテーマにしてきた。「コロナ禍で学

校の依頼は減ったが、減らないのが高齢者向けの特殊詐欺防止の依頼だ。  
 「あのね、母さん、あのね……」  
 けんちゃんは、しょげた様子で要件をなかなか切り出さない。  
 どうしたの、はっきり言ってみよう。  
 「実は、勤め先の会社のカネをね、使い込んだ……」  
 「なに! 馬鹿なことをやっつて!」  
 「だから、ちよつとおカネほしいんだ」  
 困ったねえ、いくらなの?  
 「1500」  
 「1500円かい?」  
 「ちがうよ、1500万円」  
 えーっ! そんな大金あるわけないでしょ。  
 「それじゃね、100万円」  
 困ったなあ。へそくりをかせ集めて準備しましょう。  
 わり取りには、動揺しつつも、けんちゃんを助けた。親心や、

## 校長退職後弟子入り 腹話術20年・春風赤とんぼさん



けんちゃんとうりやく政博さん、豊田市の演習町丁白

詐欺の手口が極まり込まれていく。台本は宇野さん自ら豊田署などに意向して「取材」したものだ。過去の被害を書き下すように作り上げた。母親のもとに度目の電話が鳴る。

「母さん、突然、出張になっちゃった。田中という人に行ってもらおうから」  
 「ただ、見ず知らずの人に簡単に渡せませんよ。」  
 「お金とは言っちゃいかん。「忘れ物」をもらってこいよ。この箱は一切、だれにも言わないでね」  
 当たり前でしょ、こんな恥ずかしい話、みなさんに相談も話もできない。  
 母親は白毛を訪れた男に、買った物袋に入れた現金を託し、「渡したよ」と会社勤

めの本当の息子に電話をして詐欺だと分かる……。宇野さんは「娘さんが「私、私」って言ってくる詐欺もある。もっと具体的な話ば部長さんに」と、豊田署の永井孝剛・生活安全課長に話を引き継いだ。

腹話術の魅力は、「分かるやらず」と、笑いを交えて聞いてもらえるところ」という宇野さん。この日も、「笑い声、うなずきなどで反応が分かる。喜んでもらえた様子がよかったです。なんとか被害を防げたら」。

赤とんぼによると、県内では今年8月末までに約87件の特殊詐欺被害が発生。被害総額は10億円を超える。(中川史)

テレビ愛知のニュース動画(2022年9月16日付け)でもこの活動が取り上げられていますので、ぜひご覧ください。  
<https://www.youtube.com/watch?v=R8YYLqdo1EU> また以下、赤とんぼさんからコメントをいただきました。

高齢者の方たちに、「特殊詐欺」「振り込め詐欺」の予防についてお知らせする企画に協力しています。警察官からのお話はどうしても真面目で、少々堅苦しくなりがちなので、そこは腹話術の出番となります。まず「けんちゃん」との軽い対話から始めると、集まった高齢者の方たちがぐすくす笑ってくれて、場が和みます。その柔らかい空気が出来てから、警察官にバトンタッチすると、硬めのお話もスーッと頭に入るようです。「腹話術で笑わせてくれたから良かった」との感想もいただきました。長年やっていた人権擁護「いじめ」の話でも笑いが入ることで、難しい話もぐっと身近なものになります。

ご縁のあるお寺からもよく公演を頼まれます。極楽と地獄について知ってもらえるのはどうかなあと、台本を考えました。そして、「極楽と地獄の観光案内」のタイトルで、閻魔大王も登場するなど依頼主の住職に伝えたら、電話の向こうで、げらげら笑っていました。楽しい中で、台本のイメージが膨らんでいきます。

## イツツの会と麦っ子畑保育園

春風ウータン(麦っ子畑保育園園長)

こんにちは。私たちは麦っ子畑保育園の卒園生や職員で構成しているロゴス腹話術研究会「麦っ子イツツの会」です。春風テレサ先生に来ていただいて、パクちゃん人形と一緒に作ったのがきっかけで出来ました。保育園ですので、平日は毎日朝7時から夜8時までの長時間子どもたちが登園していますから、それぞれの時間を合わせにくいことや、コロナ禍で卒園生を含めて集まりにくいことが重なって、みんなで練習する機会が持てないのが現状です。

ゆうちゃんの出番はそこそこ声がかかりますが、「イツツの会」としての発表の場がなかなか持てません。そこで！ある月のお誕生日会で、ウータンとゆうちゃんが進行役、他の皆さんは全員ケンちゃんになって、台本「イツツ」のセリフを順番にしていって内容で登場することになりました。その後は、保育園で日ごろ目しているエピソードを交えて交互に会話をしました。

終わってみて、やはり多少の無理はあっても、定期的にみんなで基本の練習をしていくことが大切だと痛感しています。デイサービスなどに伺うこともまだ控えています。再開する日が来たら、ゆうちゃんとケンちゃんであげ合い腹話術もしてみたいと考えながら、台本を考えています。



【 こむぎ通信 (保育園の賛助会会報) 第42号より 】

麦っ子畑保育園は、今年45年目、認可保育園としては5年目です。自宅の一室からスタートして、座間児童館近くに移った民家には、ショカツサイ(ムラサキダイコン)の花が一面に咲いていました。大きな花桃の木もあって、満開になるとそれはそれは見事だったのを思い出します。我が家も一緒に移ったので、お台所も居間も麦っ子と共有でした。長男が小学生で3畳の和室を勉強部屋として専用に使っていましたが、苦労して組み立てている途中のプラモデルがおチビちゃんの乱入でこわれちゃったり、大事にしていたいただきもののティーカップが割れちゃったり…。なにしろ古い民家なので、今風にドアを閉めて遮断できるような作りじゃなかったのね(笑)。床も斜めだったし、歩くと畳のあちこちが凹んでいたのが懐かしいです。一番の苦労は何と言ってもお金だったけど、ご近所とのお付き合いにも神経をすり減らしていました。

この辺りは昔の将校クラスのお宅が多かったので、「保育園が



あると地価が下がる」とか（普通にこんなことを言っていた!）、「子どもの泣き声がうるさい」とか、毎日のように言われました。自治会の皆さんとお話し合いをした席で一方的に責められて悔し涙を流したり、今から思うとずいぶんシンドかった毎日でしたが、私はまだ30代でしたから、無我夢中でやってこれたんですね。そうそう、同じように無認可で頑張っていた他の保育園の職員などで「30女の会（笑）」なんて作って、深夜まで熱く語り合ったのも懐かしい思い出です。みんな自分の子をおぶったり遊ばせたりしながらだったので、今、小さい子を抱えて一生懸命頑張っている麦っ子のお母さんたちには、無条件でメールを送っちゃうのです。今のその年齢だからこそできることはいっぱいあると思いますから～。



写真は麦っ子畑保育園ホームページより

3月のマラソン大会は、保育の一環として平日のマラソンになりましたが、夕方下校した学童の子たちと一緒にマラソン大会の表彰式をしました。雲、虹、太陽のそれぞれの子の好きな色を聞いて、長い時間をかけて作ってくれた特性のメダル。お兄さんやお姉さんにかけてもらって、本当にうれしかったね。いつも麦っ子の子たちがどうやったら喜ぶのかを考えて、夏のかき氷屋さんやゲーム屋さん、迷路やお化け屋敷など、一生懸命準備してくれている学童のみんな、ありがとう～。普段の日のお昼寝の後なども、「みなさん、よく眠れましたか～」と言ってやってきて、コマ回しやジェスチャー、紙芝居などで楽しませてくれています。こんな保育園と学童の素敵な繋がりがあって、他にあるでしょうか？私は大きな声で誰かれ構わず自慢したいです！！縄跳びが大はやりだった時も、みるみる上達していく子たちがいました。かっこよくてステキな小学生の姿に憧れて、どんどん飛び込んでいく。本当に幸せな麦っ子だと思います。

職員のひめちゃん（故人）が言った「ひとつのことから、こうして広がっていったり、長くつながっていくの、いいな、と思います」は、まさにこういうことなんですね。赤ちゃんから小学生に、小学生から中学生、高校生、大学生や社会人、親になって麦っ子に子どもを連れて来る～。心優しい卒園生は、きっと社会を変える力になっていくに違いありません。でもその前に、理不尽な戦争が一日も早く収まるように、原発のない地球で安心して暮らせるように、私たち大人がしなければならぬことがたくさんあります。みんなの優しさが揺るがずに、世の中で発揮できるよう、精一杯頑張らなくちゃ～！！

**腹話術なんかやってもやらなくても同じだなんて考えてる人はいませんか。  
けして同じではありません。  
実際に人形を抱いてやってさえいれば上手か下手かはさておいて、  
必ず人形が生きてきます。  
腹話術をやるならロゴスの生命のある人形を抱いて下さい。  
鏡の前で毎日やってほしいです。  
一日に五分でもよろしいですから。  
（『春風イチロー 思いつくまま』より）**

## 春風イチロー(市朗兄)の面影

野田健一 (米国カリフォルニア州在住)

秋の到来を感じる数多い虫の声を聴きながら、雲間よりもれる満月の輝きにしばらく見とれ、秋の夜の素晴らしさに酔った物です。満月は携帯に収め秋の風情を満喫している今日この頃です。

昭和11年野田家自宅前の家族写真です。市朗兄11歳、照代姉9歳、和嘉子姉4歳、私、健一1歳。私達は東京浅草の貸衣装店の子どもとして生まれ育ちました。二階が居間で、階下が大きな貸衣装店でした、土地柄、店は繁盛し多忙の毎日でした。近くに浅草六区があり当時、古川ロッパ、榎本健一、エンタツアチャコ等々お笑い芸人がたくさんおりましたので、イチロー兄は劇場六区の看板を見ては似顔絵を書いたり、家ではお笑いの練習をしていたと聞きました。

そんな貸衣装店を居ぬきで、大番頭にのれん分けして譲り、父は子どもたちに環境が良いという事で同じ東京の閑静な小岩に家を求め移り、亀有に建築会社を設立しました。当時建築ブームで社員も沢山増やし多忙の毎日でした。小岩の家の傍を流れる川沿いを、兄は何時も私を自転車の後ろに乗せて走り、落語やお笑いを聞かせてくれました。私だけがお客様です。晩御飯の後は必ず家族に手品を披露するのが常でした。



その優雅な生活の日々の中、昭和20年3月10日大東和戦争で東京は大空襲で焼け野原になりました。幸い、命だけは助かりました。父は家族の命が大事と、全てを捨てて福島県相馬市松川浦に疎開しました。新生活は初めに海沿いに家を借りて、家具を整え一からのスタートでした。松川浦は、風光明媚で静かな港町です。家の前は入江で船が行きかい、船頭の民謡の歌声で心癒されました。潮干狩り、魚釣り、泳ぎ等、少年の私には毎日充実した生活でした。20歳のイチロー兄は、福島には疎開せず、他県の親友の家に行

きました。

昭和25年、イチロー兄から福島県相馬市で伝道集会を開きたいと手紙が来ました、私は子ども心に仏教の田舎町で人集めは無理とっていました。チラシにはイエス様の愛の話と、落語、手品、腹話術とありました、いざ伝道集会を開いてみると、どこの集会場も満員でした、人々は皆喜び、外国のハイカラな神様は、悔い改めれば、罪をも許して下さる情け深い神様だと、評判でした。



その時、兄は賀川豊彦先生のサインと「野田保市兄へ」と御言葉が書かれた大きな聖書を父に手渡しました。兄の親孝行の一コマでした。父は賀川豊彦先生から頂いた聖書を生涯大事に静かに読んでおりました。

### イチロー兄の新潟での伝道集会

昭和32年(1957年)イチロー兄が34歳、各神学校の生徒達と新潟県の海岸で写したものです。東京神学大学、日本聖書神学校、農村伝道神学校、関西学院大学、同志社大学などから集まり、6-7人に分かれて伝道キャラバンをした時の写真です。各教会で、説教をしたり、証をしたり、合唱、ゲーム等をしました。イチロー兄は説教の他、手品、落語、腹話術をしたそうです。

この写真は、私の通うミッションバレーフリーメソジスト教会の、田附範奈姉が貸していただきました。範奈さんはビオラの先生で伝道集会の時は生徒さん達とオーケストラで伴奏をされます。お父様は陣内厚生牧師で、引退前のご奉仕は東京三軒茶屋教会でした。娘と孫のいるアメリカに長期遊びに来て、私の教会でも説教のご奉仕をして下さいました。

不思議なことに、その陣内先生が22歳の神学生であ

った時、イチロー兄と新潟県に伝道集会のキャラバンを共にしたそうなのです。先生がその時の写真を保存されており、遠く離れたアメリカの地でこの写真が私の手に渡りました。すべて神様のご計画と御恵と祝福に感謝致しております。神様は生きておられ、常に私達の背後にあり、人々とのめぐり逢い、進む指針を示

して下さることに賛美を致します。

毎回会報に乗せて下さる牧師先生の心温まる説教で心と精神を養い、体に御言葉で栄養を頂き、癒しを下さる牧師先生に心から感謝致します。

ロゴス会員の皆様方の益々のご活躍と神様からの祝福が溢れるばかりに有ります様にお祈り致します。

## 春風だより

# “とんちゃん”との出会い

豊田腹話術 春風すみれ

私が二十歳になった頃、短大で同じクラスの仲良い友達、板倉弘子さんが腹話術を始めたので見せてもらいました。「お人形が喋るなんておもしろい。よし！私もやってみよう。」と軽い気持ちで、幼稚園に就職してすぐ春風とんぼ先生の初心者講習を受けました。穏やかで優しい雰囲気のとんぼ先生から、何度も発声練習を教えてもらっても“頭音”、お人形の声は難しかったです。翌日から？笠置山荘で春風イチロー師匠の講習を受けました。でも、他の方々のようにうまく“頭音”は出ませんでした。日々の練習、1日6分の大切さとご指導を受けたことを覚えています。イチロー師匠の偉大さと、とんぼ先生の温かい雰囲気に、練習は大変でも「楽しそう。頑張ってみよう。」と、やる気が出ました。

ただ、腹話術なので、「人前で演じること」は、当たり前なのですが、これがまた私にとってはつらいことでした。椅子に腰掛け足を組み、お人形を膝の上に乗せると、軸になっている左足がブルブル小刻みに揺れてしまいます。心臓がバクバク！前に座っている観客に、足のブルブルと心臓のバクバク音が聞こえていないか、心配なほどでした。だから、台詞を抜かしたり、間違えたり表情は強張り、人形の動きが少なかったり、自分が情けなくなりました。懐かしい思い出です。

今でもこの反省を忘れないで練習に取り込むことで、「練習をしてきた。大丈夫！」と思って観客の前で演じています。

その中で、嬉しかった事は、10人程のご高齢の方々の前で演じた時のことです。私の導入の部分は、初心者講習で習った『導入ABC』をしています。この日、私は『導入ABCと透視術』をしました。終了後、一人の女性の方が私を見て、「とんちゃん、みんなの前でちゃんと挨拶しないといけないねえ。」とおっしゃったのです。一瞬ビックリしました。とんちゃんをお人形ではなく、私の子どもとして見てくれている、挨拶のできる子にと心配してくれている、と感じました。「本当！そうですよね。挨拶って大事ですもんね。とんちゃん、言えるようになるうね。」と伝えると、女性は「うんうん。」と嬉しそうでした。ほんの少し自信につながりました。

今、私の苦手なことは台本作りです。私が作った台本は笑いがあるようにと工夫したつもりでも全然面白くなく、とんぼ先生に見て頂くと一変して魔法がかかったように面白くなってしまいます。いつまでもとんぼ先生に頼ってばかりの私は情けないのですが、これからもご指導いただき、自分なりに「笑い」の多い台本作りに取り組めるように頑張りたいと思います。そして多くの方に喜んで頂けるように、初心に？帰って鏡の前での練習に取り組み、ボランティア活動を通して、私自身が楽しんでいきたいと思っています。



このような広い、大きな会場や大勢の人の前で演技をするのは初めてでしたので、重圧感が沸き起こってしまいました。まず席に着いた途端、何を話してよいか、わからなくなってしまいました。この次に何を話すのか、その次は何の会話をするのかと、考えているうちにボーっとしてしまいました。

時間が過ぎていくばかり、なかなか次の言葉が出てきませんでした。当日、直前で言葉を変えたり、人形けんちゃん

の目が壊れてしまったので応急修理をして、演じている間、又壊れてしまうのではないかとという心配もありましたが、演技が終わるまで無事でした。このことは少し安心しました。「気を取り直して！」と思い演技を続けましたが、そのうちにけんちゃんの声がうわずってしまい、その声がどんどんエスカレートしていきばかりでした。「こんなはずではなかったのに」と思いなが



らも、けんちゃんの手や足を動かしていたか、方向も変えたか、何も覚えていませんでした。「頭、まっ白！」

ビデオを見て練習不足、経験不足を実感しました。

今後は施設や幼稚園など積極的に参加して体験を積み重ね、場に慣れ、お客様と一体感を出せるように勉強したいと思います。この経験をばねにして一生懸命頑張ります。

ご指導よろしく申し上げます。



### ● 2022年度会費 (6,000円) 納入と、合わせて寄付もお願いできると幸いです。

【会費・寄付金振込先】(名義は、「一般社団法人ロゴス腹話術研究会」です)

ゆうちょ銀行：振替口座番号 00240-2-103127

※お願い：通信欄には、お手数ですが、振り込みの内訳(2022年度会費、寄付)をご記載ください。

### 〈編集後記〉

春風とんぼ先生、卒寿おめでとございます！ 本号ではカレー屋さんの腹話術の発見、イチロー師匠とロゴス腹話術との劇的な出会いをうかがいました。その後の長い年月、とんぼ先生は誰にでも親しめる腹話術、健康的な笑い、優しい言葉を使った台本、その背景にある信仰を極めてこられ、一層パワフルにロゴスを率いてくださっています。私たちはいつもとんぼ先生のお言葉と気遣いに励まされています。感謝を込めて「100歳を目指してください！」

小さい子どもを守りきれないニュースに心を痛める今日この頃です。麦っ子畑保育園のような丁寧に子どもを育む環境があることに安堵します。来年は新型コロナ感染も収束し、私たちの腹話術のボランティア活動が、お子さんたちに笑顔をもたらす一助となりますように。



いと高きところでは、神に栄光があるように、地の上では、み心にかたう人々に平和があるように  
(ルカによる福音書 2:14)

発行：  
一般社団法人  
ロゴス腹話術研究会 事務局

〒211-0005  
神奈川県川崎市中原区新丸子町734-1  
アベニオ新丸子ビル402号  
TEL：044-733-6650 FAX：03-6868-3638  
メールアドレス：harukaze@logos.or.jp  
ホームページ：https://logos.or.jp